



IISEE Newsletter



2017年7月31日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第147号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 本邦研修終了～中南米地震工学研修構造技術者コース～
- 中国地震局工程力学研究所訪問
- 広島・奈良研修旅行レポート
- IISEE 通年コースに応募するための英語力証明書について

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

本邦研修終了～中南米地震工学研修構造技術者コース～

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

7月6日(木)、先月の建築担当行政官グループと同様に、構造技術者グループの研修生による帰国後の業務改善提案の発表が行われました。これで日本滞在の研修が終了になるため、IISEEではフェアウェルパーティーを開催しました。発表で緊張していた研修生も、おいしいお菓子と和やかな雰囲気のおかげで、リラックスした様子でした。7月10日(月)からは、エルサルバドル共和国において、講義や構造実験が行われ、7月21日(金)に構造技術者コースが閉講しました。

2014年からスタートした中南米地震工学研修の修了生は、中南米諸国9カ国から延べ69名になりました。ドミニカ共和国では、これまでのIISEEの修了生が中心になって、耐震基準に最新の知見を導入するための見直し作業が進められ、この見直し作業のため、中南米研修修了生の申請により、JICAや建築研究所が中南米地震工学研修のフォローアップの一環として協力したと聞いています。IISEEでは、引き続き、JICAと協力して、中南米地域での地震発生時の被害の軽減を目指した研修を実施してまいります。



フェアウェルパーティー

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

中国地震局工程力学研究所訪問

国際地震工学センター 主任研究員 鹿嶋俊英

中国地震局工程力学研究所は中国を代表する地震工学に関する研究・教育機関です。今回、工程力学研究所の元研修生から、同研究所の研究者や学生に対し強震観測及び関連する話題についての講演依頼がありました。中国の関係者に対し日本の地震工学の研究の動向を紹介する格好の機会であることから、工程力学研究所を訪問し2日間に渡る講演を行いました。また、工程力学研究所にいる6名の前研修生に会うことができ、旧交を温めました。



工程力学研究所

広島・奈良研修旅行レポート

Mr. Sajadur RAHMAN



6月27・28日、地震工学コースの研修生8人は、研修旅行として広島、奈良を訪問し、原爆ドームや世界遺産における耐震補強、修復工事現場などを巡りました。

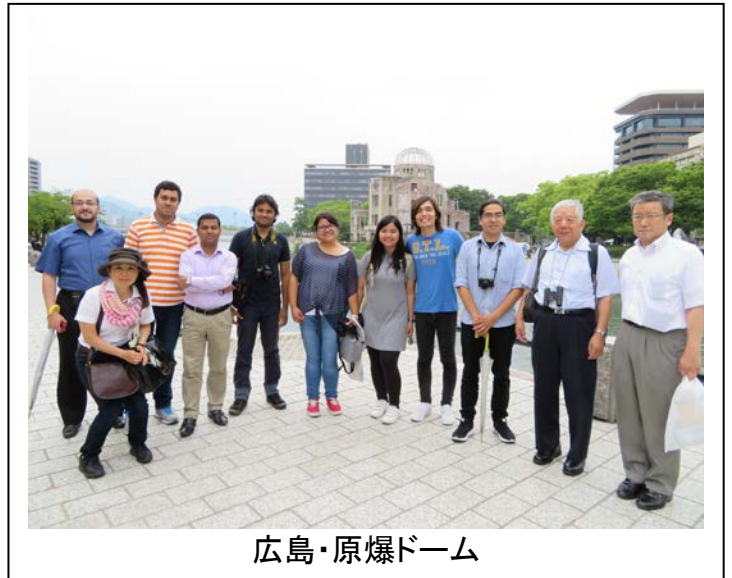
初日は広島平和記念資料館、世界遺産である原爆ドームや、宮島等を訪れました。

原爆跡地にて、深刻な被害を受けた原爆ドームでは、建物に施された保存工事や耐震補強が、外観を変えないように工夫されていました。その後、満潮時には浮かんでいるように見える宮島の巖島神社を訪れました。

次の日は奈良県の東大寺の保存修復工事現場を見に行きましたが、大仏殿からは修復現場を見ることは出来ませんでした。



最後に、このような
かけがえのない知識を
得られた研修旅行を企
画、準備してくださ
った皆様のご尽力に感
謝を申し上げます。



広島・原爆ドーム



楽しむのは今です。

IISEE 通年コースに応募するための英語力証明書について

国際地震工学センター長 横井 俊明

ニュースレター第138号(<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/?action=letter&id=174&language=jp>)
で言及したように、IISEE 研修の通年コース応募者は、話す、及び書く英語
について堪能であり、応募締め切りから遡って2年以内に取得した、
TOEFL PBT では79、TOEFL iBT では550、IELTS では6.0を最低でも保有
していなければなりません。もしくは、下記要項*を満たしていれば、免除
扱いとなります。

*免除要項

- ・応募者が卒業した、あるいは在籍する教育機関において、英語で授業を受けていたことを証明する、教育機関から発行された公式書類がある場合
- ・米国、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランドの認定された機関において卒業、卒業見込み、または学位を取得した応募者

GRIPS の選考方針にあたり、事前準備を強く薦めます。

- ・自国で参考書を入手する
- ・対策クラスを受講する
- ・オンラインテストで練習する

例：【IELTS】<http://takeielts.britishcouncil.org/prepare-test/free-practice-tests>
【TOEFL】<https://www.4tests.com/toefl#StartExam>

連絡先

IISEE ニュースレターは、
IISEE と卒業生の架け橋を
目指しています。

ニュースレターへの報告や
記事をお待ちしております。
皆様の自国でのご活躍をお
知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達
もこのメーリングリストに登録
するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧下さ
い。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>